

11 月 24 日：VN 指数は辛うじて反発 (VN-Index +0.65%)

- VN 指数は上昇して開始。ATO セッションでは一時反落する場面も見られたが、昨日大きく売られていた MWG や SSI に買戻しの動きが見られ、指数を支えた。
- しかし、その後は薄商いの中、売り方が優勢となり徐々に下落していった。特にメディアや石油・ガスセクターが相場の足を引っ張った。
- 午後に入っても低調な値動きが続き、下値を更新する場面も見られたが、その直後には反発し最終的に前日終値を上回って終了した。
- セクター別では、小売と金融サービスセクターが買われた一方、ヘルスケア、自動車・部品、資本財・サービスセクターが大きく売られていた。
- 146 銘柄が上昇、381 銘柄が下落、77 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は減少 (-6.8%) し、売買代金は 19.2 兆ドンとなった。

VN30 指数は続伸 (VN-30 +0.43%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、上昇が 17 銘柄、下落が 9 銘柄、4 銘柄が変わらずだった。
- SSI (+3.56%) や MWG (+3.35%) に反発の動きが見られたほか、SA B (+4.30%) が最も買われた。
- 一方で、MSN (-2.37%) やTCB (-1.15%) は売られた。

セクター・個別株の動き

- MWG (+3.35%) は、10 月までの今年の累計収益が 25 兆 3000 億ドンに達し、前年同期比 13%増となった。また、コスト最適化のため 200 店舗を閉鎖することも報じられ、投資家たちに好感された。
- TPB (0.00%) は、ベトキャットファンドマネジメント社買収に関し、ベトナム国家銀行 (SBV) から承認を得たことを発表。ただし、投資家からの反応はまちまちだった。

- 外国人投資家は 4,080 億ドルの買い越しに転じた。個別銘柄では D G C や S S I が大きく買われた。一方、V H M と V N M には売りが集まった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。